

組合員活動への参加・運営について

- ブロック委員をしています。参加者は少ないときもありますが、皆さんが企画を楽しんでくださるのでやりがいがあります。一緒に活動してくれる委員さんが増えることを願います。(板橋区/記述なし)
- 良い仲間にも恵まれ、楽しく委員会活動をしています。いつも有意義な時間を過ごしています。(杉並区/50代)
- 商品が好きなお友達と語り合えるのが楽しい。イベントに参加すると気が紛れてリフレッシュできるのが良いです。(杉並区/30代)
- ブロック委員会やブロック企画に参加してさまざまな情報を得て、実践してみたり、笑顔が多くなって、生活にゆとりや心が豊かになっていいこと尽くしです。(杉並区/50代)
- 最近(2019年度)ブロック委員が4人に増えてから盛り上がっているのも、もっと企画を考えたい。他ブロックとも、もっと交流して情報が欲しい。(墨田区/60代)
- とーと会、保育ママ、総代として参加させてもらっています。とーと会では良い先生に教えてもらい、保育ママでは2時間ほどの時間、子どもたちと関わらせてもらい、総代としては他の総代さんたちの意見を聞かせてもらい、勉強になっています。(足立区/50代)



組合員にとって身近な会場での企画は参加しやすく、活動の第一歩となる大切な機会です。ブロックの組合員が求めている企画は何かを考え、ブロック委員自身も楽しく、元気に活動することが、その地域の組合員活動の活性化につながります。ブロック委員会や地域の各団体の企画が他団体の参考となるように、組合員活動情報誌「Yui」に企画一覧を載せ、各地域活動の見える化をしています。さらに多くの組合員の目に留まるような活動報告を考え、新しい担い手づくりにつながるように工夫していきます。たくさんのアイデアをお寄せください。

- 産地交流・訪問などに参加して、野菜などの産地を見ながら注文しています。他の方のお薦め商品などが知りたいです。「お試し」ができるとうれしい。(川崎市/50代)
- 生産者を応援できるようにこれからも継続して商品を利用したいと思えます。モニターとして商品やサービスに対して積極的に発言していきたい。(江東区/40代)
- 商品の良さを知るにはさまざまな企画に参加することが一番です。直接、産地・メーカーの方々と話ができることは貴重で、ますます東都生協が好きになります。(世田谷区/40代)
- 生産者との交流に参加することで、商品を安心して購入でき、購入するきっかけにもなります。加入して半年足らずですが、選んで良かったと思っています。仲間づくり担当の方と決意させてくれた娘9歳に感謝しています。安い製品を売っている店は多数あるけれど、東都生協なら安心で、友達にも話す機会があれば伝えています。(川崎市/40代)



商品の良さだけでなく、どんな人がどんな思いで作ったかが分かると、その商品を好きになり、利用にもつながります。そのためには産地やメーカーと交流することが大切で、東都生協に加入したばかりの組合員にこそ参加し、交流していただきたいと考えています。これからも多くの組合員が生産者の思いに触れる機会を作っていきますのでぜひご参加ください。

- 後継者不足に悩んでおられる生産者さんと都会の若者をつなぐ活動ができればいいと思います。援農にも組合員をもっと送り出すなど。(世田谷区/50代)
- 親子ツアーだと子ども優先と思い、申し込まないので年配向けであれば行きやすい。泊まりで野菜の収穫やりんご農家などの手伝いをしてみたい。(東大和市/70代)



産地により、跡を継いで若い世代が活躍する産地もありますが、後継者不足に悩んでいる産地もあります。みかんの産地は傾斜地の園地が多いなど、高齢の生産者では作業が大変とお話もあります。援農企画としては、毎年8月にはトマト倶楽部主催でトマトの収穫援農交流を行っています。組合員の「応援したい」という声と、産地からの援農を主とした企画を望む声をつなぐ活動を検討しています。

- ブロック委員として東都生協の良さや商品の紹介を続けていきたいと思えます。(日野市/50代)
- 組合員活動に参加して、食への意識が高まったこと、もし参加していなければ知らずに見過ごしていたことも多かったと思えます。(町田市/60代)
- 組合員活動は参加するハードルが何となく高いように感じます。(小平市/記述なし)
- 食や生活について、価値観の似ている人が多いので、いろいろな話を聞いて勉強になります。試食会や集いなどで積極的に活動に参加するといいいことがたくさんあります。(町田市/50代)



試食会では商品を囲みながら組合員同士の交流が深まります。知らなかった商品のことや身近な生活のことなど、いろいろな情報をキャッチできます。「参加したらいいことがたくさんあるよ」という声を広めていきましょう。

- 農業を取り巻く環境は厳しくても、国産を守ってほしい。家計も厳しいのですが、できる限り生協で購入しています。(世田谷区/50代)
- 「生協」はたくさんありますが、東都生協を選んで良かったと思えます。生産者の方々の思いをもっと知りたい。縁あってわが家に来る野菜、牛乳など大事に食したいと思えます。(練馬区/50代)



自然災害や後継者問題など、日本の農業にはたくさんの苦勞があります。産直＝産地直結の東都生協として、産地と交流する場面をつくり、生産者の思いを情報発信し、「東都生協を選んで良かった」と感じられる活動を目指していきます。野菜の中に入っている生産者カードで、組合員の皆さんの思いも産地に届けてください。SNSでの発信をしてみてください。これからも一緒に産地を応援していきましょう。

- 「MOGMOG」の情報、いつもありがたい。安全な土づくりに取り組んでいる農家の方たち、本当にありがとう。知るたびに利用しようと思う。(稲城市/60代)



機関誌「MOGMOG」(東都生協だより)では、商品紹介、特集、地域の団体の活動の紹介など多くの情報をお届けしています。商品紹介では、特定の産地・メーカーに焦点を絞り、農産物や商品を作るこだわりや苦勞など生産者の声について掲載しています。これからは組合員が「読んでよかった」と思えるような誌面を目指していきます。

- 総代数を減らすのは参加できない高齢の方が増えている中、仕方がないことですが、組合員の意見や希望をどう取り入れていくかのシステムを考えていくことが大切ですね。(狛江市/70代)



紙媒体の他にWebなどを活用して、1人でも多くの組合員の声を聴いていきます。また、1人でも多く組合員の声を取り入れる仕組みなども検討します。

- 商品学習会はとても勉強になりました。職員のお話は分かりやすく、よく分かり、改めて利用しようと思いました。(葛飾区/50代)
- ゲノム編集食品に関して心配です。厳しい目に対応して欲しい。(日野市/40代)
- 「ゲノム編集食品の規制と表示を求める署名」を職場や地域で集め、送付しました。種子法廃止、種苗法の改正などなど、勉強する機会を与えていただき良かった。今後も学習の場を土曜、日曜に計画してもらえたらありがたい。(多摩市/60代)
- 「ゲノム編集食品」の学習会に参加しました。遺伝子組換え食品より複雑化し、ますます分かりにくくなっている輸入品。産直・国産ならではの安心をアピールしてください。(文京区/60代)



署名へのご協力ありがとうございました。私たちの食を取り巻く状況は、遺伝子組換え作物やゲノム編集食品、食品添加物などのさまざまな情報が飛び交い、不安を感じる方も多いのが現状です。東都生協では生産者の顔が見える産地直結の農畜産品、国産原材料を優先使用した原材料の分かる商品を組合員にお届けしています。引き続き、食についての正しい情報を伝える学習会を開催することで、組合員が少しでも不安を払拭できるように努めます。

- 3R活動、続けて努力しようと思えます。(世田谷区/60代)
- 3R活動の回収率を見て、ポリ袋の回収率が低いと気づきました。破けているものでも回収していただけるのでしょうか？(川崎市/50代)



リユース・リサイクル品は、毎週の供給時に空箱の中に入れて返却してください。特に紙製のたまごパックとポリ袋の回収率が20%台と低いのが現状です。ポリ袋は、袋類の再生原料として再生利用しますので破けていても回収します。

※ 3R活動とは ①リデュース(発生抑制) ②リユース(再利用) ③リサイクル(再生利用)

